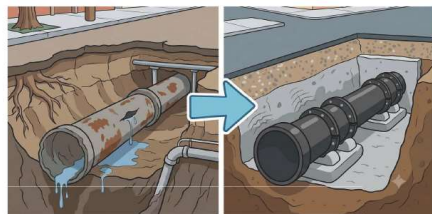


今後の整備計画

老朽化した水道管の更新と耐震化

総延長が約160kmにも及ぶ配水管のうち、全体の52.5% (約84.7km) が耐用年数である40年を経過しています。

(イメージ)



湖北地区から湖南地区まで延びる基幹管路(約7.2km)の更新を優先して、令和5年度から令和14年度にかけて国の補助金などを活用し、計画的に更新工事を進めています。
令和12年度までには基幹管路全体の耐震化率を現在の1.1%から18.7%へ上げることを目標としています。

浄水場の更新を検討しています



※現在の浄水場は5から10m未満の浸水が予測される区域内



現在の浄水場は、ホマカイ川を水源としており、雪解けや降雨のあとは川に有機物などが流れ込んで水質が悪化することから、多量の薬品を用いた浄水処理が必要となり、薬品費や動力費など多額の維持管理費用がかかっています。
また、津波浸水の危険性もあることから、地下水源への変更や浄水場の移転を含めた施設更新の検討を進めていきます。

給水管の漏水にご注意ください

給水管は、老朽化が進むとヒビや亀裂が入り漏水が起こりやすくなります。
給水管は、地中深くに埋設されているため漏水が起きてはわかりにくく、発見が遅れると大量の漏水に繋がります。
漏水した水は料金収入にならず、水道事業の収支悪化の原因の一つとなります。
漏水の早期発見と修理により、不要な水道使用量を抑制し、無駄な費用の削減に繋がります。

こんな場合は漏水しているサインかもしれません



普段と変わらない使い方なのに、水道料金が急に高くなった。



蛇口から出る水の勢いが悪くなった。

漏水の疑いがある場合や住宅などを取り壊して給水装置を撤去する際には、指定給水装置工事事業者や水道課まで連絡をお願いします。

今後の経営について

人口減少に伴う給水収益の減少は避けられない一方で、老朽化した水道施設の更新や耐震化を進める必要があります。
今後も人口動態や密度に応じた中長期的な財政見通しの下、水需要に応じた施設更新などを行います。
水道事業は、皆さんの納めた料金によって運営しています。ご理解とご協力をお願いします。



シリーズ『厚岸町の水道』

〇問い合わせ／業務係

水道の今

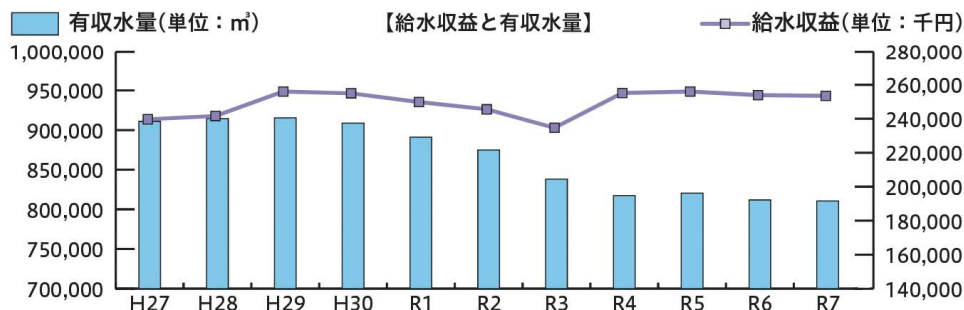
第2回 ～水道事業の経営状況と施設整備～

令和4年度の料金改定後の水道事業の経営状況や今後の見通しなどをお知らせするシリーズ『厚岸町の水道』。第2回は、水道事業の経営状況と水道管などの施設整備について紹介します。

水道事業の経営状況

給水収益は減少しています

水道事業における過去10年間の有収水量(料金徴収の対象となった水量)と給水収益(水道料金)の推移は次のとおりです。



- 令和7年度の有収水量は、10年前(平成27年)と比較して約11%減少しています。
- 令和7年度の給水収益は、料金改定後を行った令和4年度と比較すると、家事用の有収水量の減少が続き、約160万円の減収となっています。

維持管理費は増えています

水道事業の経営における費用は、職員の人件費や、委託料、薬品費、修繕費、動力費(電気料)といった施設の維持管理に関する費用に加え、企業債(借金)の支払利息や減価償却費などの項目で構成されます。

【維持管理費の実績と見込み】				(単位: 千円)
区分	令和3年度決算	令和7年度決算	令和9年度見込み	主な増額要因
委託料	47,483	68,800	67,618	人件費単価上昇による増額
薬品費	14,563	18,664	24,092	物価高騰による増額
修繕費	18,038	18,470	25,972	物価高騰による増額
動力費	16,051	19,303	23,352	物価高騰による増額
費用総額 上記4項目+その他	270,167	285,086	316,943	

維持管理費においては、物価高騰や人件費単価の上昇が続くことが見込まれ、令和9年度においても維持管理費は増加し経営を大きく圧迫する見込みです。